

情報発信力強化から目指す みなさんから「信頼される職員」



今年度、町では、町職員の「情報発信力の強化」に力を入れています。これは、町事業施策や行事などの情報の発信力と、職員のスキルを高めることで、「住んでいる人が誇れるまち、豊かな舟形」の実現につなげていくというねらいがあります。その一環として、5月14日、山形新聞社主催「NIB (Newspaper in Business) ～ビジネスに新聞を～」の出前講座が行われました。

当日は、講師に山形新聞社の斎藤敏広最北総支社長を迎え、新聞の活用方法などについてお話しいただきました。また、実際の記事を使い、たくさんの方に読んでいただくためにどんな見出しをつけると良いかという課題に取り組みました。

今回の講座を受け、自ら考え、積極的にメディアに発信する意識を持つて仕事に取り組むことの大切さを再認識しました。町職員としてのコミュニケーション力、情報収集力・分析力の向上は、町の魅力の発信はもとより、町民サービスの向上にも直結するはずです。

今後も、情報発信力強化の取り組みを通して、「自ら考え、話し合う環境づくり」とともに「みなさんから信頼される職員」を目指していきます。

Cover Person ～表紙の紹介～



5月5日に行われた平成30年度春季消防演習で、舟形ほほえみ保育園の年長児32名による鼓笛演奏が披露されました。今年は新しい曲にチャレンジし、がんばって練習してきた成果をたくさんの観客が見守る中、堂々と発表していました。

広報 ふながた 5

もくじ ～Contents～

- p3…… ふなびく
- p4…… 平成30年度 春季消防演習
- p6…… 1ヵ月がたちました。～デマンド型乗合タクシー～
- p8…… 人口減少だからこそ ～住民主体の地域づくりにむけて～
- p10… まちのわだい
- p12… ふれあい広場
 - ・舟形町空き家除却補助金の交付要件を一部改正しました
 - ・松橋わらび園オープン
- p14… 青いシグナル、ぽっぽ舎通信
- p15… 舟恋、カメラアングル、戸籍の窓
- p16… シリーズ「縄文の風」

町長コラム

萌える、燃える

山々が新緑に萌え、朴の木の葉が大きくなり、それを待っていたかのように、あちらこちらで、田植えが始まりました。

長者原の原田地区でも、米政策の大転換を迎える中、ほ場整備後初の田植えが始まりました。地域の方々が、農業の将来を見据えて取り組んだ事業であり、ぜひとも、天候に恵まれ、無事に収穫の秋を迎えられるよう、心から願わずにはいられません。

また、先月29日は、舟形中学校の運動会が開催されました。豪雪で予定どおり開催できなかったでしたが、当日は、桜の花満開の中、好天に恵まれ、元気な子どもたちの姿を見ることができました。今月12日には、最上地区駅伝大会が開催され、女子3位、男子4位と好成績を収めてくれました。舟形町の将来を担う子どもたちの大活躍に感動し、この子どもたちに、舟形町に住んでいて良かったと言われるよう、職員と一丸となって、まちづくりの理想に燃えて、もつともつと努力してまいります。

森 富広

